

Requested Patent: JP7078376A  
Title: CASSETTE TAPE RECORDER ;  
Abstracted Patent: JP7078376 ;  
Publication Date: 1995-03-20 ;  
Inventor(s): SUDO KAZUO ;  
Applicant(s): SONY CORP ;  
Application Number: JP19930224221 19930909 ;  
Priority Number(s): ;  
IPC Classification: G11B15/02 ; G11B15/17 ;

Equivalents:

**ABSTRACT:**

**PURPOSE:**To enable reproduction from a place desired by a viewer by automatically rewinding a cassette tape when it is inserted, irrespective of a rewinding state of the cassette tape.

**CONSTITUTION:**The presence of the cassette tape to be inserted into a deck, etc., is detected by a cassette sensor 1. When the tape is inserted, a power-on circuit 2 is operated to supply a power source to the deck. A mode changeover SW 3 is a switch for selecting whether the tape is reproduced as it is or reproduced after rewinding, and if the switch is in a reproducing mode of the tape as it is, a reproducing circuit 5 is operated to start reproducing immediately. If the switch is in a reproducing mode of the tape after its rewinding, a rewinding circuit 4 is operated to rewind the inserted tape, and then the reproducing circuit 5 is operated to start reproducing.

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平7-78376

(43) 公開日 平成7年(1995)3月20日

(51) Int. Cl. <sup>6</sup>	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
G 1 1 B 15/02	3 1 0 F	8022-5D		
15/17	C	8022-5D		

審査請求 未請求 請求項の数 1 O L (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願平5-224221

(22) 出願日 平成5年(1993)9月9日

(71) 出願人 000002185

ソニー株式会社

東京都品川区北品川6丁目7番35号

(72) 発明者 須藤 一生

東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニ

ー株式会社内

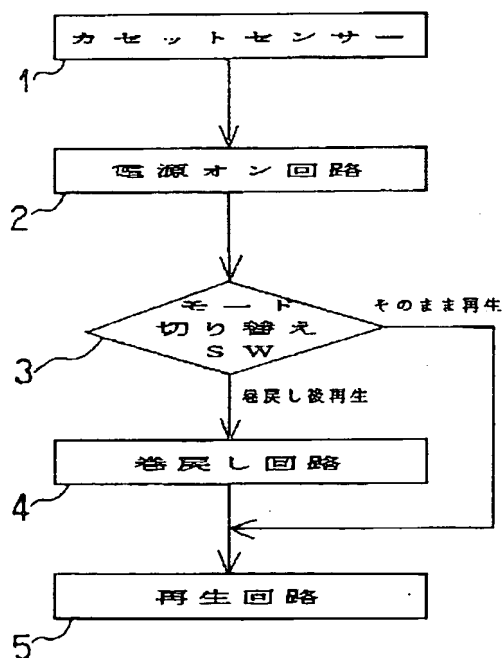
(74) 代理人 弁理士 高橋 光男

(54) 【発明の名称】 カセットテープレコーダー

(57) 【要約】

【目的】 カセットテープが巻戻されていようが、いまい  
がその状態にかかわらず、必ずカセットテープの最初か  
ら再生が開始される機能を有するカセットテープレコー  
ダーを提供する。

【構成】 自動スタート機能を有し、巻戻し未処理のカセ  
ットテープ挿入時に自動的にテープを巻戻し、再生をス  
タートさせることを特徴とするカセットテープレコーダ  
ーである。



1

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 自動スタート機能を有し、巻戻し未処理のカセットテープ挿入時に自動的にテープを巻戻し、再生をスタートさせることを特徴とするカセットテープレコーダー。

## 【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、オーディオカセットデッキやビデオデッキ等のカセットテープレコーダーの自動巻戻しスタート機能に関する。

【0002】

【従来の技術】 従来、オーディオカセットデッキやビデオデッキに於いては、カセットテープ挿入時に自動的に再生を開始する機能を有したものがあつた。すなわち、カセットテープ挿入時に、自動的に再生を開始する機能を有した装置では、再生ボタンを押す手間無しに視聴者は再生画面を見ることが可能である。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 ところが実際上、このようにして再生されたものは、視聴者の望まない場所からの再生である場合がある。視聴者の挿入するカセットテープは、そのカセットテープが巻戻されていようが、いまいがその状態にかかわらず、必ずその場所から再生が開始される為である。本発明は以上の点を考慮してなされたもので、カセットテープが巻戻されていようが、いまいがその状態にかかわらず、必ずカセットテープの最初から再生が開始される機能を有するカセットテープレコーダーを提案しようとするものである。

【0004】

【課題を解決する手段】 本発明のカセットテープレコーダーは、自動スタート機能を有し、巻戻し未処理のカセットテープ挿入時に自動的にテープを巻戻し、再生をスタートさせることを特徴とする。

【0005】

【作用】 このように構成することにより、カセットテープが巻戻されていようが、いまいがその状態にかかわらず、必ずカセットテープの最初から再生が開始される機能を有するカセットテープレコーダーを提供できる。

2

【0006】

【実施例】 以下、図面を参照して、本発明の一実施例を詳述する。図1は本発明の一実施例による自動巻戻しスタート機能を示すブロック図である。

【0007】 図1において、カセットセンサー1は、オーディオカセットデッキ又はビデオデッキ等に挿入されるカセットテープの有無を検知し、もしカセットテープが挿入されたならば電源オン回路2が動作し、オーディオカセットデッキ又はビデオデッキ等の電源が入る。

10 【0008】 本発明の巻戻し後再生するか、そのまま再生するかモード切り換えSW3の状態により、そのまま再生するモードであるならば再生回路5が動作し、すぐに再生が始まる。巻戻し後再生するモードならば、巻戻し回路4が動作し、挿入されたカセットテープが巻戻され、その後再生回路5が動作し再生が始まる。

【0009】 すなわち、モード切り換えSW3により、本発明を機能させるか、させないかを指定することが可能である。かくして、視聴者の望む場所からの再生が可能である。

20 【0010】

【発明の効果】 以上の構成によれば、カセットテープが挿入された後、電源オン回路2が動作し、視聴者の指定したモード切り換えSW3の状態により、そのまま再生するモードであるならば再生回路5が動作し、すぐに再生が始まり、巻戻し後再生するモードならば、巻戻し回路4が動作し挿入されたカセットテープが巻戻され、その後再生回路5が動作し再生が始まるため、視聴者の望む場所からの再生が可能である。

## 【図面の簡単な説明】

30 【図1】 本発明の一実施例による自動巻戻しスタート機能を示すブロック図である。

## 【符号の説明】

- 1 カセットセンサー
- 2 電源オン回路
- 3 モード切り換えSW
- 4 巻戻し回路
- 5 再生回路

【図1】

